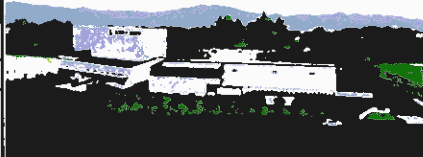


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エフケイ京都第2工場新築工事	階数	地上2F
建設地	京都府綴喜郡宇治田原町大字立川	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	20人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年10月 予定	評価の実施日	2015年11月30日
敷地面積	9,942 m ²	作成者	株式会社フジタ 加藤久人
建築面積	3,932 m ²	確認日	2015年11月30日
延床面積	4,858 m ²	確認者	株式会社フジタ 源邦夫



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 99% (46 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 98%

④ 上記+: 98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

<p>総合的な環境性能向上のため、LED照明等高効率な器具の導入、節水型器具の採用等により環境負荷の低減に配慮した建物である。また緑地面積を大きくとり、外壁には断熱性能高い外装材を採用し、熱負荷の低減を図るなど省エネルギーにも配慮した計画である。</p>	<p>特になし</p>
<p>・内装吸音材を2種類採用。</p>	<p>・階高を確保し、壁長さ比率を0.3未満に抑える事で、空間のゆとりを持たせ対応性・更新性の向上に配慮している。</p>
<p>・断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。</p> <p>・LED照明を採用し、エネルギー消費量を抑えている。</p>	<p>・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。</p> <p>・リサイクル材の採用や再利用可能なユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量を削減に配慮している。</p>
<p>・駐車場・駐輪場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。</p> <p>・屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮している。</p>	<p>・外構部分に緑地を積極的に計画し温熱環境負荷の向上に配慮している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される